

saturday

8/22

sunday

8/30

油絵と書、異色のコラボが実現！

「牛丸和人・山口芳水 二人展」

多久市まちづくり交流センター“あいぱれっと”で「牛丸和人・山口芳水二人展」が開催されました。絵画10点のほか、山口さんの書などが展示され、多くの人が訪れました。

この展覧会は、あいぱれっとを多久の文化の発祥地として、多久のアーティストの作品を市民に気軽に観てもらえる場所にしたい、という思いから、初めて行われたものです。展覧会では、牛丸さんの洋画・神仏画に、山口さんの書が融合した、新しい芸術作品が展示されました。この油絵と書のコラボは、牛丸さんが油絵に書を入れるという作風を模索していた時、書道家である山口さんと知り合い、実現しました。「油絵に書を入れるという初の試みは、さまざまな反応がありました」と話す牛丸さん。展覧会は好評のうちに終わりました。



▲牛丸和人さんと作品：風神蹴球之図

まちの話題をお寄せください!!

情報課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX 75-2110



多久市そうじの会

「道路功労者表彰」を受賞！

Thursday

8/28

多久市そうじの会（山崎昌治会長）が、公益財団法人日本道路協会から県内で唯一「道路功労者表彰」を授与されました。これは、道路愛護、美化保全などに尽力した団体や個人に贈られるもので、同会は平成9年10月に活動を始め、平成14年から“ボランティア・サポート・プログラム”の協定を締結し、市内全域の国道を活動拠点として、道路環境づくりに尽力した功績が認められました。

伝達式では、佐賀国道事務所柳田誠二所長が「我々としても嬉しい受賞。活動に感謝します」とあいさつ。賞状と記念品が贈られました。山崎会長は「美しく綺麗なまちにしようという気持ちで頑張ってきました」と話されました。

地域を見守る強い味方

「高齢者見守り活動」の協定締結

Thursday

8/28

多久市は「高齢者見守り活動」等に関する協定を株式会社セブンイレブンジャパンと第一生命保険株式会社佐賀支社と結びました。

この協定は、一人暮らしの高齢者など支援が必要な人の異変を早期に発見し、行政や医療機関などに連絡してもらうなど、見守り支援体制の強化を目的にしたものです。

東多久店オーナーの永淵弘文さんは「私たちが出来ることに対応していく。少しでも協力していきたい」。

内木場信篤佐賀支社長は「これまでも地域に密着した健康増進などの取り組みを行っている。女性スタッフが多いので、女性ならではの感性で対応していきたい」と話されました。

▶(株)セブンイレブンジャパン



▶第一生命保険(株)佐賀支社

